

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	英語 A	担当教員	菅原 崇		
学年学科	3 年 全学科	通年	必修	2 単位	
学習・教育目標	(C-2) 70% (A-2) 30%				
授業の目標と期待される効果： TOEIC300 点以上獲得を目標に、e-learning 教材『ALC NetAcademy2』を活用し、英文法および語彙の知識を深め、英語コミュニケーション能力を高める。具体的には以下の項目の向上を目指す。 ①英文法の知識を深める ②語彙を増やす ③リーディング能力を高める ④ライティング能力を高める ⑤リスニング能力を高める		成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋平常試験 50 点＋TOEIC-IP テスト 50 点（換算） 学年：前・後期の得点を合計し、得点率（％）で成績をつける。 達成度評価の基準： 授業にて行った TOEIC 対策の問題と同レベルの問題を試験で出題、6 割以上の正答レベルまで達していること。 ①コミュニケーションに必要な英文法の知識の獲得の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。 ②コミュニケーションに必要な語彙の知識の獲得の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。 ③コミュニケーションに必要なリーディング能力の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。 ④コミュニケーションに必要なライティング能力の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。 ⑤コミュニケーションに必要なリスニング能力の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。			
授業の進め方とアドバイス： 辞書、リスニングに必要なイヤフォン、未知の単語熟語などをメモするノート（および筆記用具）を毎回必ず持参すること。持参しない場合は履修の資格なしとみなす。 授業中行った TOEIC 模擬問題の確認を家庭学習として毎回行い、次の授業に臨むこと。 学習成果が上がらない学生には適宜補習を行う。					
教科書および参考書： e-learning 教材『ALC NetAcademy2』 『新 TOEIC TEST 出る順で学ぶボキャブラリー900』（講談社） その他担当教員が適宜配布するプリント					
授業の概要と予定：前期					
第 1 回：ガイダンス, TOEIC練習問題解答ならびに解説					
第 2 回：TOEIC(R)テスト演習No.1					
第 3 回：TOEIC(R)テスト演習No.1（前回の続き）					
第 4 回：単語テスト					
第 5 回： TOEIC(R)テスト演習No.2					
第 6 回：TOEIC(R)テスト演習No.2（前回の続き）					
第 7 回：単語テスト					
第 8 回：TOEIC練習問題解答ならびに解説					
第 9 回：中間試験					
第 10 回：中間試験解説, TOEIC問題解答ならびに解説					
第 11 回：TOEIC(R)テスト演習No.3					
第 12 回：TOEIC(R)テスト演習No.3（前回の続き）					
第 13 回：単語テスト					
第 14 回：TOEIC(R)テスト演習No.4					
第 15 回：TOEIC(R)テスト演習 No.4（前回の続き）					

期末試験
第16回：フォローアップ（期末試験解答解説など）

授業の概要と予定：後期
第17回：単語テスト
第18回：単語テスト（続き）
第19回：TOEIC(R)テスト演習No.5
第20回：TOEIC(R)テスト演習No.5（前回の続き）
第21回：TOEIC(R)テスト演習No.6
第22回：TOEIC(R)テスト演習No.6（前回の続き）
第23回：単語テスト
第24回：中間試験
第25回：中間試験解説, 単語テスト（続き）
第26回：TOEIC(R)テスト演習No.7
第27回：TOEIC(R)テスト演習No.7（前回の続き）
第28回：単語テスト
第29回：単語テスト（続き）
第30回：TOEIC(R)テスト演習No.8
第31回：TOEIC(R)テスト演習No.8（前回の続き）
期末試験
第32回：フォローアップ（期末試験解答解説など）